

用 字 用 語 例

この用字用語例は、文部省で公文書を作成する上の参考にするため、問題となる漢字漢語について、その言いかえ書きかえの基準を示したものである。

昭和28年11月

注 意

表中Aは、当用漢字表にない字。

Bは、当用漢字音訓表に、音または訓の認められていない字。

Cは、当用漢字表・同音訓表にはあるが「公用文作成の要領」（内閣通達）によって、かな書きが適当とされているもの。

言いかえ・書きかえ欄の中で（ ）内のものは、やむを得ない場合以外には使わないこと。

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
〔あ〕			
A	挨 拶	あいさつ	
B	生 憎	あいにく	
A	曖 昧	あいまい, 不確実	
A	相 俟って	あいまって	
A	隘 路	支障, 困難, 障害	
B	敢 て	あえて	あえて……する
A	煽 る	あおる	
B	開 く	あく, あける	戸があく, 戸をあける
A	飽 迄	あくまで	
B	拳 句	あげく	……したあげく
B	拳 げ る	あげる	一例をあげると, 国をあげて
B	与 る	あずかる	あずかって力がある, 相談にあずかる
A	恰 も	あたかも	
C	当たり 前	あたりまえ	
C	当たる	あたる	……にあたり, ……に あたって
B	彼 方	あちら	
A	幹 旋	あっせん, 周旋, 世話	
A	詔 え る	あつらえる, 注文する	
A	宛	あて	あて名, ……あて
B	後	あと	あとで……する
B	強 ち	あながち	
B	貴 方	あなた	
B	剩 さ え	あまつさえ	
B	遍く, 普く	あまねく	
C	余りに〔副詞〕	あまりに	……したあまり, あま りにも, 余り〔名詞〕
B	過 つ, 誤 つ	あやまつ	あやまって……する, 過ち, 誤り
B	予 め	あらかじめ	
B	非 ず	あらず	
B	凡ゆる, 所有	あらゆる	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
B 在 処		ありか	
B 在 方		あり方	
C 有 り 難 い		ありがたい	
A 或		ある	
B 在 る		ある	
A 或 は		あるいは	
B 酒 精		アルコール	
B 併 せ て		あわせて	あわせてお願いする
〔い〕			
A 云 う		いう（言う）	……ということ
A 雖 も		でも，であっても	
B 如 何		いか，いかが	いかに，いかほど， いかなる
C 行 く		いく	……（し）ていく
C 幾 つ		いくつ	いくつ，いくら， いくらか
B 不 可 い		いけない	
A 些 か， 聊 か		いささか， 少し， わずか	
A 椅 子		いす	
A 孰 れ		いずれ	
B 何 れ		いずれ	
B 抱 く， 懷 く		いただく	
B 致 す		いたす	
B 出 す		いだす	申しいで
B 徒 に		いたずらに	
B 頂 く		いただく	……していただく
C 至 っ て 〔副詞〕		いたって	いたって……である
B 到 る		至る， いたる	
C 一 時 に 〔副詞〕		いちじに	
B 一 途 に		いちずに	
C 一 番 〔副詞〕		いちばん	いちばん下， 一番 〔名詞〕
A 移 牒		移達	
B 何 時		いつ， いつも	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
C	一 向	いっ こう	
C	一 切	いっ さい	
C	一 緒	いっ しょ	
A	一 斉 に	いっ せいに	
C	一 層	いっ そう	
A	一 旦	いっ たん	
C	一杯に〔副詞〕	いっ ぱいに	〇月いっ ぱいに
C	一遍に〔副詞〕	いっ ぺんに	いっ ぺんに……する
C	今 更	いまさら	
B	未 だ	いまだ, まだ	
A	苟 も	いやしくも	
A	愈	いよいよ	
A	意 慾	意欲	
C	居 る	いる, おる	……(し)ている
B	種々 な	いろいろな	
C	色々 な	いろいろな	
A	謂 ば	いわば	
A	所 謂	いわゆる	
B	況 や	いわんや, いうまで もなく	
A	吋	インチ	
〔う〕			
B	得 る	うる	……(し)うる
A	謳 う	うたう	
B	中	うち	そのうち, ……のうち
B	恭 し い	うやうやしい	
A	迂 路	回り道	
A	云々	うんぬん, かくかく, しかじか	
〔お〕			
B	御	お	お……, お願いします
A	於 て	おいて, おける	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
C	大 方	おおかた	
C	大 勢	大ぜい, おおぜい	
B	概 ね	おおむね	
B	大 凡	おおよそ	
A	御 蔭	おかげ	おかげで……………
A	捺 す	押す	印を押す
B	遅い, 晚い	おそい	
C	恐 ら く	おそらく	
C	虞 れ	おそれ	
A	追而, 追って	おって	
A	音 沙 汰	たより, 音信, おとさた	
B	大 人	おとな, おとなしい	
B	自 ら	おのずから	
A	夥 し い	おびただしい	
B	思 召 し	おぼしめし	
B	覚束無い	おぼつかない	
C	面 白 い	おもしろい	
B	主 に	おもに	
B	赴 く	おもむく	
B	徐 ろ に	おもむるに	
B	思 惑	おもわく	
B	慮 る	おもんばかり	
B	凡 そ	およそ	
C	及 び	および, (及び)	甲および乙
C	折 り	おり, おりおり	……………したおり
C	折 り柄	おりから	
B	居 る	おる	……………しておる
C	愚 か〔副詞〕	おろか	……………はおろか
B	疎 か	おろそか	
B	了	終わり, おわり	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
〔か〕			
C	ケ	か, (箇)	○か月, ○月, ○月間 ○か年, ○年, ○年間
A	甲斐	かい	……したかいがあって
A	回漕	回送	
B	却って	かえって	
A	罹る	かかる	病気にかかる
A	斯る	このような	
B	関る, 係る	かかる	……にかかることは
B	拘る	かかわる	……にもかかわらず
A	垣	かき	竹がき
A	鍵, 鈎	かぎ	
C	客年	昨年, 去年	
A	賭け事	かけ事, ばくち	
A	瓦斯	ガス	
C	……方	……かた, がた	あのかた, あなたがた, あっせん方……,
A	旁々	かたがた	お礼かたがた
C	片仮名	かたかな	
A	忝ない	かたじけない	
B	辱い	かたじけない	
B	片附ける	かたづける	
B	傍	かたわら	
C	……勝	……がち	…ありがち, …(し) がち
C	且	かつ, (且つ)	
A	劃期的	画期的	
C	括弧	かっこ	()……を用いる。
A	褐色	かっ色	
A	嘗て	かつて	
C	勝手に	かってに	
A	活潑	活発, かっぱつ	
C	華道	花道	
C	仮名	かな	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
B	協う, 適う	かなう	「彼女」…は使ってよい。
B	彼 方	かなた	
B	仮 名 遣	かなづかい	
A	可 也	かなり	
B	可 成	かなり	
B	予 て	かねて	
C	彼 の	かの	
C	構わない	かまわない	
C	我 慢	がまん	
C	…… かも知れない	……かもしれない	
B	仮 初 に	かりそめに	
B	彼, 彼等	かれ, かれら	
A	苛 烈	はげしい, きびしい	
C	辛うじて	かろうじて	
B	為 替	かわせ	
A	瓦	かわら	
B	鑑 み る	かんがみる	
A	肝 腎	かんじん	
C	肝 心 な	かんじんな	
A	涵 養	養成, 育成	
〔き〕			支障をきたす きたる〇月〇日
B	気 懸 り	気がかり	
A	毀 損	破損, 損傷	
B	来 す	きたす	
B	来 る	きたる	
A	稀 薄	希薄, うすい	
B	厳 し い	きびしい	
C	寄 附	寄付	
A	旧 臘	昨年末	
A	嫌 う	きらう	
			なるべく「昨年12月〇日」というようにはっきり書く。

字 句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
B 極 め て A 僅 少 A 料 A 庇	きわめて わずか, 少し キロメートル, km, (キロ) キログラム, kg (キロ)	きわめて大きい
〔く〕 B 崩 れ る C ……下さい C 位	くずれる …ください(下さい) くらい	どのくらい, これくらい
B 較 べ る C 来 る B 具 々 も B 具 れ る A 瓦	比べる くる くれぐれも くれる グラム, g	うまくなってくる ……してくれる
〔け〕 A 繫 属 A 啓 蒙 A 桁 A 蓋 し C 結 構 だ A 幻 灯	係 属 けいもう, 啓発 け た けだし, たぶん, おお かた けっこうだ 幻 燈	三けた
〔こ〕 A 斯 う して A 広 汎 A 弘 報 A 蒙 る B 被 る A 昂 揚 B 超 え る	こうして, こうした 広範, 広い 広 報 こうむる こうむる 高 揚 越える	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
C 極 く		ご く	ごく新しい
A 此処, 茲		こ こ	
B 心 懸		心がけ	心がける
B 拵 え る		こしらえる	
B 拳 っ て		こぞって	
B 応 え る		こたえる, 答える	
C 事		こと	……すること, (事物をさすときは使ってもよい。)
B 如 く		ごとく, ように	
A 悉 く		ことごとく	
B 殊 更		ことさら	
B 殊 に		ことに	
B 毎 に		ごとに	……ごとに, 1年ごとに
B 殊の他 (外)		ことのほか	
B 詞		ことば	
C 言 葉		ことば	
A 此, 之の		こ の	このたび
A 誤 謬		誤 り	
A 之		こ れ	
B 是		こ れ	
A 頃		こ ろ	このごろ, ○日ごろ
A 根 柢		根 底	
〔さ〕			
A 遡 る		さかのぼる	
A 嚮に, 囊に 〔副詞〕		さきに	
B 先 程		さきほど	
A 些 細 な		ささいな, わずかな	
B 支 え る		ささえる	
A 捧 げ る		ささげる	
A 挿 画		さし絵	
C 差し上げる		さしあげる	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
C	差し当たり	さしあたり	差し出し人, 差出し人 * 差出人
B	差し障り	さしさわり	
B	指 図	さしず	
C	差し詰め〔副詞〕	さしずめ	
C	差し出す	さし出す	
B	差し支え	さしつかえ	
C	差し向き	さしむき	
B	差し遣わす	さしつかわす	
B	流 石 に	さすがに	
A	嚙	さ ぞ	
A	沙 汰	さ た	ごぶさた
B	早 速	さっそく	
A	撒 布	散 布	
A	扱	さ て	
B	却 説	さ て	
A	捌 く	さばく	
B	裁 く	さばく	
B	左 程	さほど	
C	様 々 に	さまざまに	
C	更 に	さらに	
C	去 る	さる (去る)	さる〇日 さしさわり
B	障 り	さわり	
B	触 る	さわる	
A	参 酌	参照, 参考, 考慮	
〔し〕			
B	強いて	しいて, しいる, むりに	
A	斯 界	この方面, 大方	
B	然し, 併し	しかし	
A	而して	しかして, しこうし て	
A	併乍, 然乍	しかしながら	
C	仕 方	しかた	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
A	加之	しかのみならず	
A	而も	しかも	
B	然るに	しかるに	
B	然らざる	そうでない	
C	直に	じきに, すぐに	
A	頻りに	しきりに	
C	仕組	しくみ	
A	刺戟	刺激	
C	始終	しじゅう	
C	次第に	しだいに	……するしだいである 「式次第」など〔名詞〕の ときは使ってよい。
C	従って(接続詞)	したがって	
B	認める	したためる	
B	……して見る	……してみる	
A	斯道	この道	
A	屢々	しばしば	
B	暫く	しばらく	
B	了う	しまう	……してしまう
C	仕舞う	しまう	
C	始末する	しまつする	「始末書」は使ってよい。
A	メ切	締め切り, しめきり	
B	閉める	締める	戸を締める
A	車輛	車両	
B	什器	器物	
A	充填	うめる, つめる	
C	充分	じゅうぶん, (十分)	
A	竣工	しゅん工, 落成, 完工	「竣功」は使わない。
A	爾余	その他, そのほか	
A	証憑	証拠	
B	上手	じょうず	
C	丈夫な	じょうぶな	
A	爾来	以来	
B	斥ける	退ける	

字 句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
B 記す, 誌す, 印す	しるす	
B 素 人	しろうと	
B 仕 業	しわざ	
A 皺	し わ	
A 真 摯	真剣, 熱心, まじめ	
A 斟 酌	手かげん, 手ごころ, 取捨, しんしゃく	
A 侵 蝕	侵 食	
A 甚 大	多 大	
A 訊 問	尋 問	
〔す〕		
C 随 分	ずいぶん	
A 趨 勢	大勢, 形勢, 傾向, なりゆき	
A 据 置	すえおき	
B 直 に	すぐに	
B 勝れる, 優れる	すぐれる	
A 尠 く	少なく, すくなく	
A 頗 る	すこぶる	
A 宛	ず つ	一つずつ, 少しずつ
C 既 に	すでに	
B 即 ち	すなわち	
B 総て, 凡て	すべて	
B 速 かに	すみやかに	
〔せ〕		
A 逝 去	死去, 永眠, 他界	
A 制 禦	制 御	
C 折 角	せっかく	
C 切 に	せつに	
C 是 非〔副詞〕	ぜ ひ	ぜひお願いします, 是非〔名詞〕
C 是非共〔副詞〕	ぜひとも	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
A 栓		せ ん	消火せん
A 詮 (銓) 議		配慮, 選考, 審議	
A 詮 (銓) 衡		選考, 選定	
A 煽 動		扇 動	
A 全 貌		全容, 全体	
A 糲		センチメートル, cm, (センチ)	
〔そ〕			
A 綜 合		総 合	
A 装幀, 装釘		装本, 装丁	
A 聰 明		賢明, かしこい	
A 挿 入		そう入, さし入れ, はさむ, さし込む	(加筆)
A 其		そ の	その他, そのほか, それゆえ
B 傍, 側		そ ば	
C 粗 末 な		そまつな	
B 抑 も		そもそも	
B 夫 れ		そ れ	それぞれ, それゆえ, それら
A 揃 う		そろう	
〔た〕			
B ……度い		……たい, ……たく	願いたい, くだされた く
C 大 概		たいがい	
C 大 し て		たいして	
C 大丈夫だ		だいじょうぶだ	
C 大 切 に		たいせつに	
C 大 層		たいそう	
C 大 体		だいたい	
C 大 抵		たいてい	
A 抬 頭		出現, 進出, 登場	
C 大 分		だいぶん, だいぶ	
C 大 変		たいへん	
C 沢 山		たくさん	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
B 丈		たけ, だけ	……だけは
C 出す (はじめ る意)		だ す	…… (し) だす
A 只		た だ	
B 唯		た だ	
C 但 し		ただし, (但し)	
C 達		た ち	わたくしたち
A 忽		たちまち	
A 楯		た て	優勝たて
B 盾		た て	優勝たて
C 建て前		たてまえ	……というたてまえ
B 仮 令		たとい	
B 例 え ば		たとえば	
A 棚		た な	本だな, 戸だな
B 頼母しい		たのもし	
B 度		た び	このたび, ……(する) たびに
B 度 々		たびたび	
C 多 分		たぶん	
B 為		た め	ために, ……のため
A 駄 目		だ め	
B 試 す		ためす	
A 誰		だ れ	
C 段々に [副詞]		だんだんに	
A 煖 房		暖 房	
B 打		ダース	
〔ち〕			
A 近 頃		近ごろ	
C 千 切 る		ちぎる	
A 知 悉		よく知る	
B 因 に		ちなみに, ついでに	
B 因 む		たよる, つながる	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
A 註		注	
A 註 文		注 文	
A 稠 密		密, 密集, 周密	密度が高い
A 帳 尻		帳じり	
C 丁度, 頂度		ちょうど	
B 一寸, 鳥渡		ちょっと	
A 貼 布		はる, はり付ける	
A 沈 澱		ちんでん	
[つ]			
B 遂 に		ついに	
B 就いては		ついては	
B 序 に		ついでに	
A 通 牒		通 達	
B 遣 す		つかわす	さしつかわす
B 就 く		つく	職につく, 就職
B 附 け る		付ける	付け替える, ○月○日付け
A 綴 る		つづる, とじる	
C 都 度		つど (都度)	そのつど
B 努めて, 力めて		つとめて	
B 勉める, 務める		努める, 勤める	務め〔名詞〕
A 繋 る		つながる	
A 蹉 く		つまずく	
B 詳に, 審に		つまびらかに, 詳細に	
[て]			
A 牴 觸		抵触, ふれる	
C 丁 寧 に		ていねいに	
B 手 後 れ		手おくれ	
B 手懸, 手掛		手がかり	
B 手 際		手ぎわ	
C 出 来 る		できる, できあがる, できごと	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
A 手 頃		手ごろ	
A 手 筈		手はず	
C 手 引		手びき	
B 手 許		手もと	
〔と〕			
A 洞 察		見通し, 見抜く	
A 全 上		同上, 上に同じ, 同様	
C 到 底		とうてい	
C 到 頭		とうとう	
A 陶 冶		鍛練, 訓練, 養成, 育成	
C 通 り		とおり	そのとおり, ……どおり, 通り〔名詞〕銀座通り
A 兎 角		とかく, とにかく	
C 時 (場合の意)		と き	……するとき, 時〔名詞〕
C 篤 と		とくと	とくと考える なるべく「慎重に……する」のように使う。
B 何 処		ど こ	
B 処		ところ	……したところ, ところで, 所… (場所を示す場合) 紙をとじる 閉じる……門を閉じる
A 綴 じ る		とじる	
A 迎 も		とても	
B 止める, 留める		とどめる	
C 共 に		ともに	……とともに, 今後とも
B 取り敢えず		とりあえず	
A 取り纏め		とりまとめ, 取りまとめ	
B 取り止め		とりやめ	
A 弗		ド ル	
A 噸		ト ン	
〔な〕			

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
A	乃至	ないし、から…まで	
A	尙	なお	なお……, なおさら
B	猶	なお	なおさら
B	永い	長い	
C	中々	なかなか	
B	却々	なかなか	
A	乍ら	ながら	……ながら
B	就中	なかんずく, なかでも	
B	為す	する	………する
B	何故	なぜ	
A	捺印	押印	
B	等	など	「トウ」と読むときは 使ってよい。
B	何卒	なにとぞ	
C	何分	なにぶん	
C	名前	名まえ, なまえ	
A	做う	ならう	
C	並びに	ならびに, (並びに)	
C	成り立つ	なりたつ, (成り立つ)	
C	成り行き	なりゆき	
B	可成	なるべく	
B	成程	なるほど	
B	何	なん	なんでもない, なんに も, なんのことか
B	何等	なんら	
〔に〕			
A	賑う	にぎわう	
B	難い	にくい	……しにくい
B	担う	になう	
A	睨む	にらむ	にらみ合わせる
A	俄に	にわか	
〔の〕			

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
A 脳 裡		頭の中	
B 逃 す		のがす	
B 除 け る		のける	
B 則 り		基づいて, 従って, よって, 即して, のっとり	
A 吞 む		の む	案をのむ
〔は〕			
A 把 握		握る, とらえる, つかむ, 理解, は握	
B 入 る		はいる	
C 葉 書		はがき	
A 渉 る		はかどる	
B 不 図		はからずも	
B 許		ばかり	こればかり, ……するばかり
A 漠 然		ばくぜん	
A 莫 大 な		ばくだいな, 多大な	
A 剝 離		はがれる	
A 駁 論		反論, 反対論	
A 挾 む		はさむ	はさみ込む
A 筈		はず	
B 外 れ る		はずれる	
C 果たして〔副詞〕		はたして	はたして……だ
A 潑 刺		はつらつ	
C 派 手 な		はでな	
A 甚 だ		はなはだ, はなはだしい	
A 巾		幅	
A 憚 る		はばかり	
B 阻 む		妨げる, じゃまする	
A 煩 瑣		わずらわしい	
C ……を初め		……をはじめ	Aをはじめ BC……, 始める(開始の意), 初め, 初めて(最初の意)

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
〔ひ〕			
B	延いては	ひいては	
A	惹き起こす	ひき起こす	
B	日 毎	日ごと	
A	日 頃	日ごろ	
C	久し振り	久しぶり	
A	只 管	ひたすら	
A	畢 竟	つまり, つまるところ	
B	日 附	日 付	
A	必 須	必 要	
C	一方ならぬ	ひとかたならぬ	
B	一 入	ひとしお, いちだんと	
A	齊しく〔副詞〕	ひとしく	
A	一 揃	ひとそろい	
B	一 度	ひとたび	
C	一 通 り	ひととおり	
B	一 先 ず	ひとまず	
B	一人, 独り	ひとり	
C	一 渡 り	ひとわたり	
C	表 記 (件名をさすとき)	標 記	件名するとき「表記」は 使わない。
A	憑 拠	よりどころ	
A	病 棟	病舎, 病屋, 病とう	
C	平 仮 名	ひらがな	
B	拡 が る	広がる	
A	頻 度	出度, 度数	
A	頻 繁 に	ひんぱんに	
〔ふ〕			
C	風 に	ふうに	……のふうに, こういうふうに
B	殖える, 増える	ふえる	
B	相応しい	ふさわしい	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
C	不 充 分	ふじゅうぶん, (不十分)	
C	附	付, 付して	付記, 付帯, 付置, 付与, 付録
C	附 随	付随 (附随)	
C	附 則	付則, (附則)	
C	附 属	付属, (附属)	
C	不断, 普段	ふだん	
A	符 牒	符ちょう, しるし	
A	払 拭	一掃, 除去, 取り去る	
B	二 人	ふたり	
C	不 図	ふと	
C	振 仮 名	ふりがな	
A	氛 囲 気	ふんい気, 空気, 気分, 情勢	
A	呎	フィート	
〔へ〕			
A	僻 地	へき地	
B	可	べ き	……すべき
B	下 手	へ た	
B	部 屋	へ や	
A	編 纂	編 集	
A	編 輯	編 集	
A	鞭 撻	激励, はげます, べんたつ	
A	編 綴	つづる	
A	返 戻	返却, 返す	
A	頁	ページ	
〔ほ〕			
A	哺 育	保 育	
C	方	ほ う	……のほうが
A	俸 給	ほう給	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
A 老 大		膨大, 多大	
A 茫 漠		ばくぜん, とりとめない	
B 他		ほ か	そのほか
C 外		ほ か	そのほか, するほか, ほか
B 欲 し い		ほしい	……してほしい
A 補 填		補 充	
B 程		ほ ど	
A 殆 ど		ほとんど	
B 略		ほ ぼ	
A 本 棚		本だな, 書架	
C 本 当 に		ほんとうに	
B 封 度		ポンド	
〔ま〕			
A 邁 進		突進, つき進む	
A 賄 う		まかなう	
B 間 際		まぎわ	
B 真に, 実に, 誠に (副詞)		まことに	誠—まこと—〔名詞〕
B 将に, 正に, 方に		まさに	
B 勝る, 優る		まさる	
B 況 し て		まして	
B 真 面 目		まじめ	
B 先 ず		ま ず	
B 益 々		ますます	
C 又		また (又)	
B 未 だ		ま だ	
B 街—まち—		町	
C 間 違 う		まちがう	
A 俟 つ		ま つ	あいまって
B 完 う する		全うする	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
A 迄		ま で	○日まで
A 纏 め る		まとめる	
B 真 似		ま ね	
A 儘		ま ま	そのまま
C 間もなく		まもなく	
A 稀 に		まれに	
A 廻		回る, 回す	
B 真 中		まん中	
A 哩		マイル	
〔み〕			
B 御		み	み国, み代
B 見 出 す		見いだす	
A 磨 く		みがく	
B 見極める		見きわめる	
A 砌		みぎり, そのおり	
C 見事, 美事な		みごと, みごとな	
A 未 曾 有		かつてない, 空前の, はじめての	
B 充 た す		満たす	
A 妄 に		みだりに	
B 濫 に		みだりに	
B 路, 途, 徑		道, みち	
A 見 倣 す		みなす	
B 見 難 い		見にくい	
B 見 逃 す		見のがす	
B 観, 看, 覧, 視		見 る	
C 見 る (試みる意)		み る	…… (し) てみる
A 耗		ミリメートル, mm, (ミリ)	
A 厔		ミリグラム, mg, (ミリ)	

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
〔む〕			
B	寧ろ	むしろ	
B	難しい	むずかしい	
C	無造作に	むぞうさに	
A	無駄	むだ	
B	空しい, 虚しい	むなしい	
A	棟	むね, 屋, 舎	
B	無暗に	むやみに	
〔め〕			
C	目当て	目あて	
A	酩酊	酔う	
C	銘々に	めいめいに	
A	明瞭	めいりょう, 明白, 明確, はっきり	
B	眼鏡	めがね	
B	目指す	目指す	
C	滅多に	めったに	
B	目出度い	めでたい	
C	面倒な	めんどうな	
B	米	メートル, m	
〔も〕			
C	申し上げる	申しあげる (申し上 げる)	
A	網羅	もうら, 全部集める	
C	目途	目標, 目あて	
B	目論見	もくろみ	
C	若し	もし, もしも	
C	若しくは	もしくは, (若しく は)	
A	齎らす	もたらす	
A	勿論	もちろん	
B	以て	もって	……をもって

字	句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
A 尤 も		もっとも	
B 専 ら		もっぱら	
A 戻 す		もどす	払いもどし, もどし入れ
B 固 よ り		もとより	……はもとより
B 最 早		もはや	
B 最 寄		もより	
A 貰 う		もらう	……してもらう
A 洩らす, 泄らす		漏らす, 漏れる	
B 諸 々		もろもろ	
C 申し合わせ, 申し合わせる			申し合わせ, 申し合わせる, 申し合わせ事項, 申し入れ 申し入れる, 申し込み, 申し込む, 申込書
〔や〕			
A 臆 て		やがて	
A 喧 し い		やかましい	
A 厄 介 な		やかかいな	
B 廉 い		安い	
B 易 い		やすい	……しやすい
C 矢 張 り		やはり	
B 止める, 罷める		やめる	
B 止むを得ず		やむを得ず, やむをえず	
A 稍		やや	
B 動もすれば		ややもすれば	
B 遣 る		やる	やり方, やり直し
A 碼		ヤール, ヤード	
〔ゆ〕			
B 由 緒		来歴, いわれ	
A 悠 々		ゆうゆう	
B 故		ゆ え	ゆえに, ……のゆえで
B 所 以		わけ, 理由, 方法, ゆえん	

字 句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
A 歪 む B 行 方 B 委 ね る A 忽 せ B 緩 む	ゆがむ, ゆがめる ゆくえ ゆだねる, 任せる ゆるがせ ゆるむ	ゆくえ不明
〔よ〕		
A 要 訣 C 様 だ A 傭 人 B 漸 く C 余計に〔副詞〕 B 汚 れ る A 仍 っ て B 余 程 B 自(より…起点 を示す。) B 拠 所 B 宜しく, 宜敷 A 輿 論	要 点 ようだ よう人 ようやく よけいに よごれる よって よほど から よりどころ よろしく 世 論	 ……のようだ, のよう に よって……する, …… によって ○日から, ……から… …まで, 「より」は比 較のときだけに使う。 ◎◎より少ない。
〔ら〕		
B 等 C ラ ズ オ A 濫 觴	ら ラジオ はじまり	
〔り〕		
C 立 派 に A 諒 解 A 諒 承 A 罹 病	りっぱに 了 解 了承, 承知 発病, 病気にかかる	

字 句	言いかえ・書きかえ例	摘 要
A 流暢に	すらすらと, よどみなく, りゅうちょうに	
[る] C 留守	るす, 不在	
[れ] A 戻入 A 連繋 A 煉瓦 A 聯合 A 聯絡	もどし入れ 連係, つながり れんが 連合 連絡	(定額れい入)
[る] A 籠球	バスケットボール	
[わ] A 吾 C 我 B 我 B 分かる, 判る B 弁える A 粹 B 態々 A 僅に A 亘って A 詫る A 割り戻し	わが, われ われ わが わかる わきまえる わく わざわざ わずかに わたって わびる 割りもどし	わが家, わが国, われら わが家, わが国, われら, われわれ ……にわたって

当用汉字字体表抄

この表は、従来、略字として使われていた漢字で、こんど、標準字体となったもののうち、使用度の高いものを選んで示したものである。

(昭和 24. 4. 28 内閣告示参照)

(あ)	庄											
(い)	厩	医	為	老								
(え)	絵	榮	營	駅	円							
(お)	応	穩										
(か)	仮 観	働	画	回	会	拡	覚	学	楽	漢	関	
(き)	気	帰	偽	旧	挙	抛	経	狭	勤			
(く)	区											
(け)	軽 験	徑	莖	繼	芸	権	県	検	献	嚴	欠	
(こ)	効	広	国	号								
(さ)	濟	歳	剂	雜	参	残						
(し)	糸 称 慎	兎 証 尽	辞 焼	実 装	写 獎	积 状	寿 乘	収 条	従 触	処 嘱	叙 真	
(す)	図	随	数	枢								
(せ)	声	静	撰	浅	専	戦						
(そ)	争	総	壮	蔵	属	続						
(た)	台	体	対	帯	汎	沢	単	担	断	団	彈	

(ち)	遅	虫	昼	聴	庁
(て)	鉄	点	転	伝	
(と)	当	党	独	読	
(な)	難				
(に)	弍				
(の)	悩	脳			
(は)	拝	廃	売	麦	発
(ふ)	払	仏			
(へ)	辺	変	弁		
(ほ)	宝				
(ま)	万	満			
(や)	訳	薬			
(よ)	予	余	与	誉	様
(ら)	来	乱			
(り)	両	猟			
(れ)	礼	励	霊	歴	暦
(ろ)	労	炉			

なお、「え」は「え」,「サ」,は「サ」,「祇」は「ネ」と書く。

公文書あて先の名称 (おもなもの)

内部部局

官房各課長，広報主任官
各局長

国立学校

各国立大学長
ただし，短期大学を除く場合は，
各国立大学（短期大学を除く。）長
各国立学校長
ただし，短期大学を除く場合は，
各国立学校（短期大学を除く。）長
教員養成の学部を置く各国立大学長
付属学校を置く各国立大学長
各国立高等学校長

所轄機関

各所轄機関長

外局

文化財保護委員会委員長
文化財保護委員会事務局長

国立，公立および私立の大学

各国公私立大学長
ただし，国立，公立および私立の短期大学を除く場合は，
各国公私立大学（短期大学を除く。）長

地方公共団体

各都道府県教育委員会

各都道府県教育委員会教育長
各都道府県知事
文部省所管各都道府県支出官

「各」と「関係各」の使用区分は、

「各」は、全般を意味する場合に用い、「関係各」は、関係のある一部を意味する場合に用いる。